

# 一 般 質 問 通 告 表

			ページ	
①	中 村 実	.....	1	( 2月28日予定 )
②	渡 辺 栄 一	.....	2	( 〃 )
③	伊 藤 麗	.....	4	( 〃 )
④	和 泉 克 彦	.....	5	( 〃 )
⑤	保 坂 悟	.....	6	( 〃 )
⑥	田 原 実	.....	10	( 3月1日予定 )
⑦	利 根 川 正	.....	12	( 〃 )
⑧	近 藤 新 二	.....	14	( 〃 )
⑨	新 保 峰 孝	.....	16	( 〃 )
⑩	加 藤 康 太 郎	.....	18	( 〃 )
⑪	田 原 洋 子	.....	20	( 3月3日予定 )
⑫	横 山 人 美	.....	22	( 〃 )
⑬	阿 部 裕 和	.....	24	( 〃 )
⑭	田 中 立 一	.....	25	( 〃 )
⑮	宮 島 宏	.....	27	( 〃 )
⑯	東 野 恭 行	.....	28	( 3月4日予定 )
⑰	古 畑 浩 一	.....	29	( 〃 )



## 質 問 事 項

### ① 中 村 実

#### 1 北朝鮮拉致問題への糸魚川市の取組について

【答弁者：市長、教育長】

1970年から1980年にかけて多くの日本人が行方不明となり、その後北朝鮮工作員の証言で北朝鮮による拉致であることが証明され、2002年に行われた第1回日朝首脳会談において北朝鮮はようやく拉致を認め謝罪を行い、同年10月に5人の拉致被害者が24年ぶりに帰国を果たすことができました。

その後、国では第2回日朝首脳会談を行うも進展が見られず、家族会でも1,400万筆以上の署名を集め国に働きかけていますが、いまだに成果が見られません。糸魚川市でも旧青海町の藤田進さんが特定失踪者として登録されていますが、まだ認定がされていません。今後、藤田進さんの拉致認定と拉致被害者全員の早期帰国に向け、署名活動やパネル展、小中学校でのDVD教育などを通し、この忌ま忌ましい出来事を忘れることがないようにいろいろな取組を進めていく必要があると思いますが、市の考えを伺います。

- (1) パネル展や署名活動はどうなっていますか。
- (2) 小中学校でのDVD教育は行っていますか。
- (3) 特定失踪者問題調査会と市の連携はありますか。

#### 2 糸魚川市新エネルギービジョンの進捗状況について

【答弁者：市長】

旧糸魚川市では合併前の平成15年3月に「糸魚川市新エネルギービジョン」を策定し、旧能生町では翌年の16年3月に「能生町新エネルギービジョン」を策定し、これらの計画に沿って、旧能生町では風力発電2基、旧糸魚川市では小規模な太陽光発電を整備しました。その後には地熱発電や水力発電調査に取り組むなど、やっと民間企業の動きが見えてきました。今後は民間との協働による糸魚川市内の地形に合った自然エネルギー開発を進めるべきと思いますが、以下の点について伺います。

- (1) 「第1次糸魚川市新エネルギービジョン」の成果は何ですか。
- (2) 「第2次糸魚川市新エネルギービジョン」に向けての取組は何ですか。
- (3) 民間企業参入の予定と支援制度はありますか。
- (4) 糸魚川市内で開発できるクリーンエネルギーは何がありますか。

## 質 問 事 項

### ② 渡 辺 栄 一

#### 1 大糸線（糸魚川駅～南小谷駅間）の存続について

【答弁者：市長】

今月3日に西日本旅客鉄道株式会社より、当市と長野県松本市を結ぶ大糸線の糸魚川駅～南小谷駅間の沿線活性化や路線存続に向けた取組についての協議を始めると発表があり、全国のニュースでも取り上げられ、注目を集めている。全国のローカル線が共通の課題を抱えており、単純に赤字を理由にした廃線を認めるならば、国内の多くのローカル線は早晚廃線の運命をたどることになるが、必ずしもそうした傾向にはなく、各地で様々な工夫をして、維持され、地域の交通や観光に貢献を続けている。本線も是非踏みとどまってほしいと希望し、現状と対策を伺う。

- (1) 会社側からの提案の概要はどうなっているか。
- (2) これまでも様々な対策を打ってきたと思うが、その成果と問題点は何か。
- (3) バス路線への転換は、結局地域の衰退を招き、観光客も減り、じり貧となると予想されるが、市の考えはいかがか。
- (4) 大糸線応援隊の現状について、隊員数の推移、とりわけここ半年くらいの加入数は何名か。
- (5) 日々の業務の中で、市職員の利用も図れるのではないかと思うが、考えはあるか。
- (6) コロナ禍で需要が落ち込む中での提案はフェアではないと考えるが、市はこの点で反論する考えはあるか。
- (7) 南小谷駅と糸魚川駅間の乗り降りが少なく、乗客のほとんどが観光客である現状があるが、新幹線や日本海ひすいラインとの連絡もあり、観光客中心の需要であっても、客数を増やし、持ちこたえる方策を考えるべきだと思うが、どう考えるか。
- (8) 一方で会社としては、収益を考えるのは当然であり、一層の連携で集客を図る対策を、市民からのアイデアも集めて企画してほしいと要望するが、どのように考えているか。

#### 2 コロナ禍での市内各イベントについて

【答弁者：市長】

2年越しのコロナ禍で、当初は様々なイベントの中止があったが、感染を防ぎながら、経済を回す方向に転換が進んできている。本市でも何でも大事をとって中止するばかりではなく、観光施策も考慮し、やり方を変えながら実施できるものは、行って

## 質 問 事 項

いくことが望ましいと思われるが、市はどう考えるか伺う。

- (1) 市内及び県内の現在の感染状況と今後の見通しをどう考えるか。また、希望する3回目のワクチン接種は最終的にいつ頃までに終了可能か。
- (2) コロナ禍でのイベント中止による経済損失額はどのくらいか。
- (3) 年末年始から現在まで、中止した市の行事と、決行した行事について伺う。
- (4) 市立小中学校の運動会や修学旅行の実施状況や変更した点は何か。
- (5) 春から夏にかけての行事の見通しをどう考えるか。

3 糸魚川市が取り組む雇用を生む企業誘致等や看護学校設立に向けた動向について

【答弁者：市長】

去る1月14日、市議会臨時会での米田市長の行政報告及び広報いといがわ2月号(N o . 203)での首都圏の某IT企業が進出する旨の掲載記事について、また、令和4年度重点施策に掲げている地域経済、地域医療について伺う。

- (1) 当市にとって某IT企業の進出は成功例となるのか、また、どのくらいの雇用規模になるのか。
- (2) 第3次糸魚川市総合計画で、商工業の振興の項目に、市内3か所の産業団地等への企業誘致活動を展開するとあるが、目星はついているのか。
- (3) 水資源を活用した小水力発電事業の誘致と自治体新電力会社設立に向けた取組とあるが、実現の可能性はあるのか。
- (4) 看護師確保に向けた取組の中で、看護師養成所若しくは看護学校のサテライトキャンパス誘致に向けた取組とあるが、ターゲット校が見つかっているのか。
- (5) 糸魚川市公式通販サイト「いといがわ逸品市場」を開設したが、何社くらいの事業者で何品くらい出品しているのか。また、手応えはあるか。

4 糸魚川市健康づくりセンターにおける屋内プール増築実施設計業務委託の入札について

【答弁者：市長】

平成29年9月、当市健康づくりセンターの屋内プール増築設計業務委託の入札において、新たに疑いがかけられているが、この件について伺う。

- (1) 本件の建築物の類型が、第三号の第2類(屋内プール)であるべきところを第1類(体育館)で積算してしまい、誤って算出したものと理解しているが、間違いはないか。
- (2) なぜ、誤ってしまったものが落札したのか。原因がどこにあるのか、言い訳的

## 質 問 事 項

- にいわれるヒューマンエラーで済まされるのか。
- (3) 落札すべき事業者に対して、何らかの補償等を考えているのか。
  - (4) 担当した元市職員には確認ができないと聞いているが、このまま放置しておくのか、法的手段はないのか。
  - (5) 糸魚川市は、被害者なのか、加害者なのか。
  - (6) 瑕疵ある行政行為に対して不服申立て等があった場合、どうするのか。
  - (7) 入札関係の検算は誰が行ったのか。その職員へのペナルティーは考えていないのか。公僕である公務員としての自覚があるのか。
  - (8) 本件で市民の皆様説明会を設ける考えはあるか。

### ③ 伊 藤 麗

#### 1 糸魚川市内に在住する外国人のサポートについて

【答弁者：市長】

11月7日にビーチホールまがたまで開催された、糸魚川国際人材サポート協会主催の「防災ワークショップ」に参加しました。

市内に滞在、在住している外国人の方は増加傾向にあり、現在約450名。企業などの研修生がそのほとんどとのこと。このワークショップを通じて、市内に在住する外国人の暮らしを支援する必要性と重要性を感じました。外国人も地域の一員であるという視点から、以下質問します。

- (1) 防災教育を外国人向けに行うことについて、市としてのお考えを伺います。
- (2) 医療機関を受診する際のサポート体制は、十分か伺います。
- (3) 外国籍の児童とその保護者に対して、しかるべきサポートがなされているか伺います。
- (4) 外国人技能実習生に対して、受け入れる側である企業にも努力が必要と考えますが、市として企業側の対応を把握しているか伺います。
- (5) 外国人の皆さんが、糸魚川で生活する上で抱える不安や疑問を聞き出すような取組はされているか伺います。

#### 2 コロナ禍においても子育てしたいまちづくりについて

【答弁者：市長、教育長】

当市においても、年明けから新型コロナウイルス感染症患者が増えました。それに伴い休校、休園の対応がなされたことについて、お子さんはもちろんご家族にとっても不安が大きかったこととお察しします。ウィズコロナ時代の子育て支援の中で大切

## 質 問 事 項

な視点の一つは、子育て世帯を孤立させないということではないでしょうか。妊娠期間から子育て期間を通じて、どの世帯も「安心して子育てができる」「孤立させない」という視点から、以下質問します。

- (1) コロナ禍前後で、糸魚川総合病院での出産件数の推移と産婦人科の持続可能性について、市の考えを伺います。
- (2) 市内における病児保育の利用状況を伺います。
- (3) 休園、休校措置を講じた際、トラブルや問題などの報告があったか伺います。
- (4) 小学校休業等対応助成金の周知状況、利用状況はどのようになっているか伺います。
- (5) 妊娠・出産・子育てに関わる相談事をLINEで受け付けるお考えはあるか伺います。

### ④ 和 泉 克 彦

#### 1 糸魚川地域の鉄道を利用した地域観光の連携等について

【答弁者：市長】

- (1) 今年1月11日付けの新聞等で、JR西日本は、不採算のローカル線に関して「今考えなければ地域の輸送自体が廃れてしまう。待ったなしの状態だ」と、見直しに意欲を示したとの報道がされています。さらにJR西日本が今月3日付けで発表した、大糸線南小谷・糸魚川駅間に関する「大糸線沿線の活性化及び持続可能な路線としての方策検討の開始について」を受け、「廃止も視野に入れ検討している」とした一部の報道に対して、米田市長が、4日の臨時記者会見において、「誠に遺憾である」と抗議されました。

大糸線の存続については、今までも議論がなされてきたところではありますが、ここにきて、にわかに風雲急を告げる状況となってきています。このような事態を受けて、行政としての今後の方向性について伺います。

- (2) かつては、生活路線としての位置づけもありましたが、昨今の交通事情から、今後は、観光路線としての存続の道を更に模索していくことが必要だと思います。行政としては、これまでの取組も含め、どのような方策を検討されているのか、伺います。
- (3) 2015（平成27）年春に、糸魚川駅のアルプスロにオープンした糸魚川ジオステーション ジオパルでは、鉄道ジオラマを始めとし、そのジオラマで走らせることができる鉄道模型や様々な鉄道の資料が展示されています。コロナ禍ではありますが、令和3年度は、4月から12月に、21万人弱の来場者があります。あわせて、昨年7月4日からえちごトキめき鉄道株式会社の企画で、「国鉄形観光

## 質 問 事 項

急行」を直江津・市振間で、土休日を基本に運行中です。この企画に、全国から鉄道ファンが糸魚川地域、市振にも大勢訪れています。ジオパルや市振駅へ鉄道ファンに再び訪れてもらうために、ジオパルの展示品などを更に有効活用するための方策について伺います。

### 2 いじめ問題と「特別の教科 道徳」に係る子どもの心の成長について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 1月28日に行われた教育委員会定例会において、当市の小中学生の不登校といじめ件数が、前年度に比べて増加していることが報告されました。昨年6月、私の一般質問での「いじめ件数」の推移についての答弁は、平成30年度64件、令和元年度48件、令和2年度55件とのことでしたが、今年度は、12月までに91件と大幅に増加しています。その理由や背景等について伺います。
- (2) いじめや不登校は、子どもたちの成長期において、大きな影響を与えるものと考えます。特に、コロナ禍において、大人のみならず、子どもたちにも閉塞感が否めない状況にあります。そのような状況で、子どもたちの自己肯定感や自己有用感などの啓発、社会問題化しているいじめなどの保護者や家族への啓発に効果は見られているのか、伺います。
- (3) コロナ禍における閉塞感を覚える中、学校教育を通して、特に「特別の教科 道徳」の果たすべき役割が大きいと考えます。この「特別の教科 道徳」を通して、子どもたちに、人との関わりの中で、相手を尊重し、自分自身の将来についても希望が持てる、また、郷土・糸魚川への誇り、そして、日本人としての誇りを持つことができるための方策として、偉人教育の必要性を感じます。歴史上の人物、あるいは近現代の人物、そして、子どもたちにとって身近な著名人などの生き様から、自分自身の明るい将来を思い描き、想像する力を養うことができると思いますが、いかがでしょうか。伺います。

## ⑤ 保 坂 悟

### 1 指定管理者（権現荘）のリスク分担について

【答弁者：市長】

#### (1) コロナ禍における権現荘のリスク分担について

昨年の12月定例会において補正予算1,710万円の費目別詳細説明がなく、決算審査特別委員会の集約を行政と議会が黙殺したことは、チェック機能である議会の責任放棄としか言いようがない。改選後の議会改革を後退させるととても残念な

## 質 問 事 項

出来事であった。

今定例会において補正予算で1,020万円が計上された。光熱費、人件費、食材費、広告費、消耗品費等の赤字のリスク分担分について、議会と市民に分かる詳しい説明を行う考えはあるか。

### (2) 鮮魚等のリスク分担について

① 鮮魚等の食材費は、リスク分担に含まれるのか。

② 3か月間1店舗が独占的に納品することは、地域振興になるのか。また、地域振興とは局地的に行うものか。市内全域ではいけないのか。

### (3) リスク分担の算出方法について

指定管理施設は、施設ごとの目的やSDGsのような政策的な取組や施設の性質によって、リスク分担の割合等が異なる。コロナ禍を機会に明確な計算式の構築は考えているか。

## 2 子どもの権利条例の制定について

【答弁者：市長、教育長】

この条例は「子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」を守ることを主な目的としている。日本では「こども家庭庁」が2023年4月に創設を目指している。子どもたちには参政権がないことや未成年ということで、保護者の意向が強く反映する。時としてその保護者に問題があることで、事件や事故に発展することもある。子どもたちのためのまちづくりを推進する者として、糸魚川市に子どもの権利条例が必要と思うが、条例を制定する考えはあるか。

## 3 生活弱者の支援について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 介護や障害の認定がなく、アルコール依存症など様々な依存症による生活困難者への支援について考えはあるか。

(2) 聴覚障がい者のために「Net119（緊急通報システム）」の導入の考えはあるか。

(3) 高齢者等の除雪事故防止策の強化について考えはあるか。

(4) 高齢者のペットの飼育数について、管理と把握をする考えはあるか。

(5) 今年の6月1日よりペットにマイクロチップの装着が義務付けられる。装着の補助制度の創設を提案するが、考えはあるか。

(6) 地域通貨の導入による有償ボランティアについて

中山間地で買物代行や相乗りをさせてくれる方、ごみ出しや玄関先の除雪、雪踏みなど小中学生や高校生でも有償ボランティアとして参加できる制度の創設

## 質 問 事 項

を提案するが、考えはあるか。

### (7) マイナンバーカードの推進について

- ① 高齢者にカードを持つメリットが分かる具体例は何か。
- ② 金融口座のひもづけについて、安全安心な方法の具体例は何か。
- ③ 近い将来、カードを持っていることで期待できるサービスは何か。

## 4 大糸線の今後の対応と戦略について

【答弁者：市長、教育長】

### (1) 大糸線存続の手法について

一般的にJR、第三セクターによる存続を考えるが、ほかにどのような形態があるのか。

### (2) 鉄道とその敷地の公園化について

- ① 鉄道を温存活用する目的として、長野県立白馬高等学校と新潟県立糸魚川白嶺高等学校の鉄道実習施設として残す提案をする。高校に鉄道学科の創設について検討はできるか。
- ② 観光鉄道の検証コース化にすることはできるか。
- ③ 昭和ブームに乗り、昭和40・50年代を演出する手法はできるか。
- ④ 「銀河鉄道999」、「仮面ライダー電王」、「烈車戦隊トッキュウジャー」などのテレビ番組やキャラクターを生かしたレプリカ車両で鉄道パーク化はできるか。

### (3) 廃線（鉄道撤去）の場合の条件闘争について

- ① 松本糸魚川連絡道路の直轄工事について、国に提案できるか。
- ② バス路線とする場合、高齢者でも安心して乗車できる乗り心地の良い車両の導入を求めることはできるか。
- ③ DMV（デュアル・モード・ビークル）の導入について考えはあるか。

## 5 女性のための環境づくり（男女共同参画運動）について

【答弁者：市長、教育長】

### (1) 「生理の貧困」の背景について

- ① 学校や職場等で「生理」と「生理痛」について、男性の理解を深める運動を行う考えはあるか。
- ② 女性にとって「生理は恥ずかしい」という認識を転換する運動を推進する考えはあるか。

### (2) 産前産後のサポートについて

産前産後の女性の負担を周囲が理解できるように運動をする考えはあるか。

## 質 問 事 項

### (3) 無戸籍者問題とSDGsの取組について

子どもの特別給付金において、離婚後300日以内に生まれた子どもは、前夫の口座に振り込まれるという報道があった。市内の把握はできているか。また、給付の対応はできているか。

### (4) 5歳から11歳までの子どもの新型コロナウイルスワクチン接種について

市のスタンスは推進か、それとも慎重か。どの立場で周知するのか。

### (5) 子宮頸がん予防ワクチン接種について

8年の間、接種期間を逃した方たちによる接種を求める運動があった。当市はどのように対応をしているか。

## 6 駅北子育て支援施設整備について

【答弁者：市長、教育長】

にぎわいの拠点には旧井上商会跡地をメインとしているが、今後、旧東北電力社屋の解体に伴い周辺整備の形が流動的になっている。そこでどのような立地になるかは分からない段階だが、拠点施設とともに回遊性のあるまちづくりをうたっているため、駅北エリアの空きスペースや空き家等を活用して、以下の項目の検討を提案するが、現時点での可能性についての考えを伺う。

### (1) TSUTAYA式の飲食ができる「子ども図書館」の設置について

### (2) 夕日が見えるカフェ（スターバックス等）の設置について

### (3) 市長公約の公営塾の設置について

### (4) デジタル体験館の設置について

### (5) アナログ体験館の設置について

### (6) 理科・数学体験館の設置について

### (7) 外国語日常会話体験館の設置について

### (8) 子どもの体幹を鍛える運動体験館の設置について

### (9) クラスでナンバーワンになる秘密基地の設置について

### (10) 各館のインストラクター（先生、お手伝い）として、高齢者等の地域通貨による登用システムの導入について

## 質 問 事 項

### ⑥ 田 原 実

#### 1 新駅押上駅、糸魚川駅周辺整備と鉄道を活かした広域連携について

【答弁者：市長】

- (1) えちごトキめき鉄道日本海ひすいライン「えちご押上ひすい海岸駅」が開業して1年となります。開業前より検討されていた地元住民や高校と連携したまちづくり、通勤通学利用者の利便性などについて、伺います。
- (2) 糸魚川ジオステーション ジオパルに設置されている鉄道ジオラマ、鉄道車両、レプリカ車両、様々な鉄道資料の活用について、伺います。
- (3) 今後の鉄道需要の掘り起こしには、糸魚川が鉄道ファンの目的地となり、必ず行かなければいけない巡礼地となることが大切ですが、それにはどうしたらよいか、糸魚川市に戦略と実践はありますか、伺います。
- (4) 県内の新型コロナウイルス感染症の収束状況を見てとなりますが、今年やれることとして、10月の鉄道の日を目途に新津、直江津、糸魚川が連携して、鉄道イベントを開催してはいかがですか、伺います。
- (5) 報道にあるように、地方鉄道の多くが廃線を検討しなければいけないとされる時代になり、もしそれがまかり通れば、新幹線がたまに止まる駅を数十億円も掛けて糸魚川市は整備したことになりますが、到底市民の理解は得られません。納得できるものではありません。

私からは、東京から2時間の新幹線駅に、えちごトキめき鉄道、富山あいの風鉄道、大糸線が乗り入れるメリットを活かしたまちづくりを進めること、鉄道事業者、県、国に鉄道存続を更に働きかけることを、この場より訴えたいと思います。米田市長のお考えを伺います。

#### 2 「翠（みどり）の交流都市」糸魚川市の様々な都市交流事業の現状と課題について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 姉妹都市塩尻市との都市交流事業の現状と課題について、市民・文化交流、観光・経済交流をどのようにされるか、伺います。
- (2) カチューシャの唄をご縁とする知音都市の中野市、長野市、浜田市及び早稲田大学との都市交流事業の現状と課題について、市民・文化交流、観光・経済交流をどのようにされるか、伺います。
- (3) 「翠（みどり）の交流都市」を標ぼうする糸魚川市では、ジオパークの各都市との交流、古事記の神話でつながる出雲と諏訪との交流、地名押上でつながる墨田区との交流など、行政が進めるもの、市民団体が進めるもの、地域が進めるもの

## 質 問 事 項

のなど活発に交流事業が行われていますが、コロナ禍で対面交流ができないことによる、交流へのモチベーション低下が課題となっていると考えます。これを乗り越え、交流機運の醸成を図るための対応について、伺います。

### 3 「ブラタモリ」から学ぶ、糸魚川の魅力の伝え方と活かし方について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) NHKの番組「ブラタモリ」糸魚川編の放送の反響について伺います。
- (2) 「ブラタモリ」から私たちが学んだことは、糸魚川の魅力の伝え方として、面白く、分かりやすく伝える工夫の大切さだったと思います。今後、糸魚川の地質・地形、自然、歴史、文化を伝えていく上で良い経験としたいと考えますが、その点について伺います。
- (3) 「ブラタモリ」糸魚川編第1回でのフォッサマグナと糸魚川ー静岡構造線の解説が良いとインターネット上でも評判です。タモリさんの解説、通称「諏訪解説」を糸魚川市のまちづくり、ひとづくり、情報発信に役立ててはいかがでしょうか。また、第2回での親不知と塩の道の解説が良いと市民からの声を頂きました。糸魚川市の教育テキストとして活用できないか、伺います。
- (4) 12月定例会の一般質問で、私から是非3回目の放送をと要望し、今後放送局に働きかけていくとご回答いただきましたが、その後いかがですか。  
第3回「ブラタモリ」糸魚川編のコンテンツとしては、鉄道と相馬御風先生を取り上げてほしいと熱望いたしますがいかがですか、伺います。
- (5) 現在新型コロナウイルス感染症が心配ですが、新潟県内や隣接県の富山、長野からのマイクロツーリズムとして「糸魚川ブラタモリツアー」を積極的に進めるべきと考えますがいかがですか、伺います。

### 4 にぎわいの拠点・子育て支援センターの構想、計画、建設、運営について

【答弁者：市長】

- (1) 12月定例会の一般質問で、子育て施設を中心に、小規模コンビニエンスストア、規制の緩い図書館機能、若い移住者や近隣高齢者が使う温浴施設やランドリーカフェなどを併設し、複合的な機能によって、多世代の市民が市内各所から訪れ、利用する施設を提案させていただきました。  
その後、ご検討いただけましたか、伺います。
- (2) 糸魚川市においては、少子高齢化時代と人口減による財政縮小に対応した公（おおやけ）の施設建設となるよう、にぎわいの拠点・子育て支援センターの基本設計、実施設計、建設工事発注方法、施設運営方式には、十分な検証が必要と考えます。

## 質 問 事 項

以下の点について、伺います。

- ① にぎわいの拠点・子育て支援センター全体の運営は、指定管理者制度による運営をお考えでしょうか。それともそれ以外のPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の手法をお考えでしょうか。糸魚川市の方針について、伺います。
- ② 市民要望があり設置する子育て支援センター部分の、用途別の部屋の広さ、利用時間、利用人数予定数については、どのようにして決定されますか、伺います。また、子育て支援センター部分で必要となる職員数と、運営に係る費用は幾らになり、その財源はどうなりますか、伺います。
- ③ 子育て支援センター部分の運営には、民間ノウハウを活かすということで指定管理者制度とすると聞いていますが、公民連携の先進地では同様の施設を公営としているところがあります。どちらがよいか、糸魚川市の方針について、改めて伺います。

### ⑦ 利根川 正

#### 1 農業が抱える問題と地域まるっと中間管理方式について

【答弁者：市長】

農業は高齢化が進み、新たな担い手の確保が難しく、今後5年間で耕作をやめる農業者が多く出ると考えられます。

中心経営体への集積が進んでいますが、農地の集約化、作業効率の面からも限界があります。また、個人農業者には畦畔の草刈りの負担が大きく、農業用機械の更新にも踏み切れないでいます。

米作りをやめることにより、農地は荒れていくことから、荒らさずに次の世代へつなぐ仕組みを考えなければなりません。その対策として、愛知県豊田市押井宮農組合が選んだ、可知祐一郎さんが考案した「地域まるっと中間管理方式」を検討すべきだと思います。

「地域まるっと中間管理方式」は、農地中間管理機構を利用した集落営農の新しい形です。担い手も、自作希望農家も、引退した農家も全ての農地を中間管理機構に貸し出し、そして、集落全戸で組織された非営利型の一般社団法人がその受け手となり、全ての農地の利用権がこの一般社団法人に設定されます。利用権設定の契約は、10年契約で一斉に更新するため、全戸の手続きが一度に済みます。

担い手同士と自作希望農家が共存できること、中山間地域等直接支払、多面的機能支払、環境保全型農業直接支払などの受け皿になること、自作の米販売などによる売上げで安定化することができること、法人設立が簡単で、地域集積協力金などが非課

## 質 問 事 項

税になり、事業制限がないため、商工業者も加入できることなど、総合的に地域づくりに取り組みたい地域に適した形式だと考えます。

- (1) 「地域まるっと中間管理方式」を、この糸魚川市でも進めることはできないか伺います。
- (2) 農家の人達が集まり、地域ぐるみで組織化していく共同農家を進められないか伺います。
- (3) この方法では、農業機械の共同化、地域の水田の共同管理など多くのメリットがあり、集落営農組織、農業機械共同利用組合など法人組織の新規設立の支援等あれば伺います。
- (4) ほ場の整備が必要と考えますが、申請から実現までかなり年月が掛かっているため、早めることができないか伺います。
- (5) 事務員の雇用時には、集落支援員制度を利用することができないか伺います。
- (6) 土地改良区と多面的機能組織との連携ができないか伺います。
- (7) 地域に合った特産物の育成や6次産業化の取組について、考えを伺います。
- (8) 糸魚川市の水田賃借料は過去の金額を継続しているケースが多く、米価の下落等の影響を反映し、引き下げた料金設定で提示できないか伺います。
- (9) 新型コロナウイルス感染症の拡大による、消費の低迷で市内農業経営者にも影響が出ています。収益が落ち込んだ農業経営者に対する対策を伺います。
- (10) 木質バイオマス、営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）によるエネルギーの地産地消を軸とした農林業振興と持続可能なまちづくりについて、考えを伺います。
- (11) 農林水産業で使うガソリン、軽油、灯油、電気料等の値上げが大きく、国は1月27日に価格抑制に向けた補助金制度を発動しましたが、値上がりが進んでいます。4月から農業用ハウス、トラクターなどで燃料の需要が増えますが、更に値上がりする場合、補助等の考えはありますか伺います。
- (12) 農業の手伝いと旅を通じた「おてつたび」のメリットについて伺います。

## 2 アフターコロナにおける観光産業について

【答弁者：市長】

昨年末、景気は新型コロナウイルス感染症発生前の6割まで回復しましたが、13都県におけるまん延防止等重点措置の適用期間延長により3割まで逆戻りしていて、市内では民宿割ぼうの破産申請、また佐渡市では最大規模のホテルも負債を抱え、債務整理をしているなど、新型コロナウイルス感染症の影響などにより売上げの減少と資金繰りに行き詰まっています。

- (1) 糸魚川市の観光産業に大切なホテル、旅館、民宿、民泊、旅行業などに対する今後の支援について伺います。

## 質 問 事 項

- (2) 県、糸魚川市で観光に力を入れている一つとして、サイクリングがあります。新型コロナウイルス感染症の影響で自転車、バイク、車でのドライブが増えています。自転車を活用した観光(サイクルツーリズム)を強化していますが、まず、市内の方々から自転車を利用してもらい、イベント、大会など健康増進につなげる意味でも、企画、立案してもらえないか伺います。
- (3) えちご押上ひすい海岸駅前の空き地の活用と、ヒスイ海岸から海川までの糸魚川東バイパス海川大橋下を駐車場、イベント会場として利用できないか伺います。
- (4) 海の観光で漁船を活用して、日本海から親不知を見る雄大な観光案内ができないか伺います。

### 3 新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種について

【答弁者：市長】

- (1) 濃厚接触者への連絡が、保健所対応から感染者自らの判断で連絡することに変更になりましたが、本人自ら連絡することに戸惑いがあり、市が代わりにできないか伺います。
- (2) 療養期間が終了し、復帰のための陰性証明が必要な場合、検査を受けられるか伺います。
- (3) 2月15日公表の新型コロナウイルスワクチン3回目の接種率は、新潟県が8.1%と全国で3番目に低い状態で、糸魚川市は、6.7%です。まん延防止等重点措置の対象県としては低すぎると思います。原因と今後の市の対応を伺います。
- (4) 上越市では18歳以上の3回目の新型コロナウイルスワクチン接種間隔を6か月に短縮していますが、糸魚川市の対応を伺います。
- (5) 学校、保育園、幼稚園等でクラスターが確認されていますが、5歳から11歳の新型コロナウイルスワクチン接種の糸魚川市の予定と、両親の休日のときに接種が可能か伺います。

## ⑧ 近 藤 新 二

### 1 糸魚川市の新型コロナウイルス感染症対策について

【答弁者：市長、教育長】

昨年末からのオミクロン株による第6波の感染急拡大に対して、国や新潟県では対応が追いつかなくなったことなどから、「みなし陽性」「感染者から濃厚接触者への連絡」「濃厚接触者の家族」など市民の皆様にとって、分かりにくい対策で不安を感

## 質 問 事 項

じており、現在の新型コロナウイルス感染症対応について、感染者や濃厚接触者のご家族から不満の声が多く聞かれています。

糸魚川市の現状と取組について、以下の項目を伺います。

- (1) 糸魚川市の感染状況について
- (2) 糸魚川市の感染予防について
- (3) 糸魚川市の感染症発生時の対応について

### 2 地元就職とU I ターン就職の推進について

【答弁者：市長、教育長】

令和4年2月1日糸魚川市の総人口は40,456人で、昨年の令和3年4月1日から554人減少しています。

当市の人口ピラミッドを見ると、人口減少のスピードは更に加速することが予想され、子どもを産み育てる環境整備や移住定住施策など、人口を増やす取組を継続しつつ、新たに生じてくる課題に対しては、地域や企業、市民一人一人が目的意識を共有し、一体となって未来に向けた取組を着実に実行していく必要があります。

以前、市長は市政運営と主要施策の中で、未来を担う人づくりについて、地域における人材育成やビジネスにおける人材育成を継続するほか、市内企業の次世代を担う人材を集め、人口減少の現状や当市を取り巻く環境などを学び、将来に向けた取組を協議する場を設け、官民一体となって進めることが重要と話されていました。

近年どのような状況なのか、以下の項目について伺います。

- (1) 今年の市内新規就職者の予定数について
- (2) ハローワーク糸魚川管内の現在の有効求人倍率について
- (3) 中学生、高校生の市民アンケート結果の分析について
- (4) 今後の取組と課題について

### 3 空き家等の現状と利活用について

【答弁者：市長】

人口減少社会を迎え、全国的に空き家が増加傾向になってきました。

総務省の2018年「住宅・土地統計調査」の集計によれば、全国の住宅総数約6,200万戸に対して、空き家は約840万戸と5年前の調査より約20万戸増加しています。

空き家は適切な管理がなされないまま放置され、敷地は庭木の枝が伸び放題となり、雑草が生い茂ります。その結果、蚊や蜂などの害虫が繁殖し、近隣住民に危害を与えることがあります。また、雑草の種子が近隣に飛び散り、周辺地域ではいくら草取りをしても追いつかなくなるなど、空き家の増加に伴いトラブルも増加し、社会問題となっています。

## 質 問 事 項

このような状況の中、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする「空き家等対策特別措置法」が2015年5月に施行され、糸魚川市も「糸魚川市空き家等対策計画」を策定しました。

糸魚川市の現状と取組について、以下の項目を伺います。

- (1) 空き家の実態と「特定空き家」について
- (2) 空き家所有者への適切な管理の指導について
- (3) 空き家の活用促進について
- (4) 空き地の実態と所有者へ適切な管理の指導について

### ⑨ 新保峰孝

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策と新潟県地域医療構想について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 市内における第6波の感染状況をどのように捉え、対応しているか。
  - ① 福祉施設、小中学校の状況と対応はどうか。
  - ② 第6波の感染拡大の特徴と糸魚川市としての対応はどうか。
  - ③ 新潟県の感染状況発表内容の縮小は、どのような理由によるものか。
- (2) 3回目のワクチン接種体制と接種の進行状況は、どのようになっているか。
- (3) 新型コロナウイルスの感染が長期化する中で、飲食・宿泊業以外の業種・産業への影響を把握しているか、対策はどのようになっているか。
- (4) 感染症の流行に対応した保健所体制の強化を、県に求める必要があるのではないか。
- (5) 地方創生臨時交付金等、活用できるものは最大限活用し、先を見据えた対策を取っていく必要があるのではないか。
- (6) 新潟県地域医療構想では、上越圏域については県立中央病院を基幹病院とした再編を行いたい意向のようだが、糸魚川総合病院で手術ができないような体制では、市民の命が守られないことにもなる。どのように考えているか。

#### 2 談合問題について

【答弁者：市長】

- (1) 糸魚川市官製談合再発防止対策検討委員会の提言をどのように受け止めているか。
  - ① コンプライアンス行動指針(案)が提案されたが、これまでの不祥事防止のための職員行動指針とどのように違うと捉えているか。理事者の責任はどのよ

## 質 問 事 項

うに考えているか。

② 官製談合再発防止対策に関する提言（案）は、これまで行われてきたと推察される官製談合、民間談合に対応できるものと捉えているか。

③ 提言に基づいた改善策はいつから実行し、検証していくか。

(2) 2021（令和3）年4月以降の落札率の推移を、どのように受け止めているか。

(3) 健康づくりセンター（はびねす）屋内プール整備での設計価格における疑惑を、どのように考えているか。

### 3 高齢者の補聴器活用推進について

【答弁者：市長】

(1) 厚生労働省は、2017（平成29）年の新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）で認知症の危険因子の一つに、「難聴」を位置づけている。認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて取り組もうというものだが、「難聴」についてどのように捉えているか。

(2) 厚生労働省が調査し、昨年（2021年）3月に発表した「難聴高齢者の社会参加促進のための補聴器補助制度及びその効果研究」において、調査の結論として、早期発見の仕組みづくり、耳鼻科医との連携の仕組みづくり、関係専門家の周知、補聴器装用後のフォロー、支援スキームの検討が必要とあるが、どのように受け止めているか。

(3) 当市においては、軽・中等度難聴児補聴器購入費助成事業があるが、2020（令和2）年度の給付は0件となっている。高齢者の難聴対策として補聴器購入費助成事業も検討する考えはないか。

### 4 大糸線の活性化について

【答弁者：市長】

(1) 長年の取組により1957（昭和32）年8月15日、大糸線が全線開通した。糸魚川駅から南小谷駅の35.3km区間が未電化のまま残った理由は、はっきりしていない。

1995（平成7）年7月11日、7.11水害が起こった。2年5か月後の1997（平成9）年11月29日、大糸線が復旧、開通し、運転を再開した。災害復旧事業費は、糸魚川土木事務所が受け持つ河川、国道148号、砂防合計で518億4,000万円となる。このほかに建設省直轄事業と長野県側の関連する災害復旧事業費があるが、それらを合わせると約620億円となる。このほかにJR西日本の大糸線鉄道施設復旧費65億円がある。

糸魚川市にとって長野県側と直接つながる唯一の公共交通であり、長年の運動

## 質 問 事 項

とばく大な災害復旧事業費も投入された大糸線の利活用について、どのように考えているか。

- (2) 交通手段の多様化が進み、地球温暖化も進んでいる。余暇の楽しみ方も多様化している。今までの既成概念にとらわれず、小谷村・白馬村・大町市等と連携し、大糸線も組み込んだ事業に取り組むときではないかと思うがどうか。
- (3) 大糸線を幹とし、枝にバスを組み込めば、酒・ワイン・魚・様々な温泉・景観等、地域資源を最大限活用できる、マイカーでは味わえない事業を行うことができると思うがどうか。そのために、賛同する関係自治体で振興公社のような組織を作ったらどうか。

### ⑩ 加藤 康太郎

#### 1 自転車を活用した観光の推進とまちづくりについて

【答弁者：市長】

- (1) 新潟県においては、庁内の組織再編で「観光文化スポーツ部」を4月に新設にすることに伴い、文化やスポーツと連携した観光振興策を進め、交流人口の拡大を目指しており、サイクルツーリズムの推進（イベント経費などの補助）によって、自転車競技会を開催するなど、県外から人を呼び込めるほか、県民の健康増進も期待できるとしています。

また、当市においても、マリンドリーム能生を発着点とするコース全長120キロメートル、区間の標高合計が2,000メートルを超えるサイクリングイベント「グランfond糸魚川」が、2005年から15年間、開催された実績（第15回で終了）があります。サイクリングフィールドとしての素晴らしさが全国的にも認知されており、サイクリストや観光業から、自転車を活用した「サイクルツーリズム」の新たな推進に大きな期待が寄せられています。あわせて、コロナ禍における2021年度でも、サイクルツーリズムの国内消費総額（サイクリスト国勢調査・推計値）は、年間、約1,315億円で、2018年度比から59億円増加しており、再来訪する割合も高く、関係人口の拡大にもつながる魅力ある観光振興策であると考えます。

ウィズコロナ、アフターコロナも見据えた自転車を活用した観光の推進について、市の見解を伺います。

- (2) 上越・糸魚川・妙高広域観光ブランド推進検討会として、3市にまたがる2つのサイクリングコース（妙高山麓～上越ルート、久比岐自転車道）を活用した観光地域づくりや、まちなかレンタサイクルを推進していますが、市民の健康

## 質 問 事 項

増進、自転車通行空間の整備や公共交通機関との連携など、自転車を活用したまちづくりについて伺います。

### 2 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進に向けた取組について

【答弁者：市長】

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応において、地域・組織間で横断的にデータが十分に活用できないことなど様々な課題が明らかとなったことから、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していくデジタル・トランスフォーメーションが求められています。令和2年12月25日、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が閣議決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」が示されました。

デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげ、E B P M（証拠に基づく政策立案）等により行政の高度化を図ることが可能となります。

自治体DX推進に向けた取組状況について伺います。

- (2) 行政の情報システムが取り扱う情報には、市民の個人情報や行政運営上、重要な情報が多数含まれており、情報資産を人的脅威や災害、事故等様々な脅威から防御することは、市民の財産、プライバシー等を守るためにも、また、継続的かつ安全・安定的な行政サービスの実施を確保するためにも必要不可欠です。このため、市が保有する情報資産の機密性（重要な情報が外部に漏れないようにすること）、完全性（いつでも正しい情報を維持し改ざんされないこと）及び可用性（システムの障害や故障でサービスが止まらないようにすること）を維持することを目的として、情報セキュリティポリシーが策定されていますが、更なる自治体DX推進に向けて、定期的な評価・見直しを行い、情報セキュリティ対策の実効性を確保し対策レベルを高めていくこと、市民へ周知していくことが重要であると考えます。

「糸魚川市情報セキュリティポリシー」の評価・見直しについて伺います。

## 質 問 事 項

### ⑪ 田 原 洋 子

#### 1 来海沢地区地すべり災害の復興状況について

【答弁者：市長】

令和3年3月4日に発生した来海沢地区地すべり災害から、1年がたちます。

令和3年8月15日には来海沢地区の県道東側、令和3年10月20日には県道西側の2世帯6人を除き避難指示解除がされましたが、令和4年2月14日からは再度県道西側7世帯17人に対し避難指示が出されました。

県道東側の住民は、避難指示解除後も度重なる土石流センサーの反応や大雨による避難が続き、夜もよく眠れないなど心労が絶えません。

県道西側の住民は、いつになったら日常生活に戻れるのか、不安な日々を過ごしています。

また、来海沢地区から市野々地区と御前山地区に通じる県道が冬季期間、夕方5時から翌朝7時まで通行止めとなっているため、不便な生活を送っています。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 精神的ケアはどのように行っていますか。
- (2) 避難解除のめどは立っていますか。
- (3) 農地農業用施設の復興状況はどうですか。
- (4) 冬季期間、緊急ルートとなっている根知方向の除雪はどうなっていますか。
- (5) 県道が緊急で通行止めになったときに、御前山地区、市野々地区に取り残された方の孤立対策はどうなっていますか。
- (6) 県道が通行止めになったときに、住民以外に知らせる方法は、どのような手段がありますか。

#### 2 骨髄移植について

【答弁者：市長】

公益財団法人日本骨髄バンクによると、白血病などの血液疾患により骨髄移植で適合するドナーが見つかる確率は、血のつながっていない他人では数百から数万分の一と言われていています。

骨髄移植のチャンスを得るためには、1人でも多くのドナー登録が必要となりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、1年間の新規ドナー登録者は2018年度の49,151人から減り続け、2020年度には27,218人と2万人以上減っています。

骨髄バンクのドナー登録者は令和3年3月末現在約53万人ですが、40代と50代が約6割を占めています。

骨髄・末梢<sup>まっしょう</sup>血幹細胞を実際に提供できるのは55歳以下であるため、もしこのま

## 質 問 事 項

ま新しい登録者がなく 10 数年がたつと登録者が半減します。

また、適合するドナー候補者が見つかったとしても、ドナーの健康状態などにより骨髄液の提供ができない場合があります。

さらに、骨髄液採取時に通常 3 泊 4 日の入院が必要で、骨髄液提供前後の健康診断やドナーが骨髄移植に伴う貧血を軽減するため、骨髄液提供前にあらかじめ自分の血液を採血し、保存を行うため、8 日間ほど平日の日中に通院しなければならず、仕事などの都合がつかないことから、必ずしもドナー候補者が骨髄液を提供できるとは限りません。

このため、企業・団体によっては、骨髄液提供のために有給休暇を使うのではなく、特別休暇として認める「ドナー休暇制度」を導入しています。

ドナーが骨髄液などの提供に必要な通院・入院をした場合、市町村がドナーやドナーが勤務する事業所等に対して助成を行う「骨髄移植ドナー支援制度」は、新潟県 30 市町村のうち、令和 4 年 2 月 1 日現在 21 市町ありますが、残念なことに糸魚川市には「骨髄移植ドナー支援制度」がありません。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 骨髄移植ドナー支援制度を導入する考えはありますか。
- (2) 新潟県に対し、骨髄移植ドナー支援制度の予算補助を求めることは検討していますか。
- (3) 糸魚川市内でドナー休暇制度を導入している企業・団体はありますか。
- (4) 公務員にはドナー休暇制度が認められていますが、糸魚川市職員でドナー登録をしている人は、何人いますか。
- (5) 糸魚川市出身で骨髄移植を行った俳優が主演し、糸魚川でもロケが行われた映画を上映する予定はありますか。
- (6) ドナー登録の啓発活動は、行っていますか。

### 3 合理的配慮について

【答弁者：市長、教育長】

合理的配慮とは、障害者手帳を持っている方に限らず、障害のある方が、日常生活や社会生活の中にあるバリアを取り除くために、何らかの対応を必要としていると意思が伝えられたときに、別のやり方を提案することを含め、話し合い、対応することです。

平成 28 年 4 月 1 日より施行された「障害者差別解消法」（正式名称「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」）により、行政機関や企業などの事業者に、障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と、合理的配慮の提供義務が課せられています。

「障害者差別解消法」で定められている合理的配慮は、努力義務とした上で、自主

## 質 問 事 項

的な取組を促すこととしていますが、令和3年6月4日に改正法が公布されたため、施行後は民間事業者における合理的配慮の提供は義務となります。

また、平成28年4月1日より施行された「改正障害者雇用促進法」(正式名称「障害者の雇用の促進等に関する法律」)には、雇用分野における合理的配慮が事業主に対して過重な負担を及ぼすこととなる場合を除いて、義務づけられています。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 音声メニューや耳マークなど意思疎通ツールの作成、折り畳みスロープや順番呼出しブザーなどの環境配慮物品の購入、手すりや障害者優先駐車場整備などの環境配慮工事に対する「糸魚川市障害者理解促進事業」の申請は、今までに何件ありますか。
- (2) 事業主に対して合理的配慮の啓発活動は、行われていますか。
- (3) 学校での合理的配慮は、どのように取り組まれていますか。
- (4) 糸魚川市役所では、合理的配慮の事例はありますか。
- (5) 発達障害者に対して、合理的配慮は推進されていますか。
- (6) 発達障害者は自分の特性を知り、それを相手方に伝えることが必要ですが、特性を知るための診断はどこで受けられますか。

### ⑫ 横 山 人 美

- 1 「ひとみかがやく日本一の子どもをはぐくむ」ための、保育園、幼稚園職員の人材育成と働き方改革の推進並びに教育的見地からの保育園、幼稚園の統合・民営化の推進の必要性について

【答弁者：市長、教育長】

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、この時期に質の高い教育が提供されることは極めて大切であると考えます。質の高い教育は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境が整えられるところから始まり、子どもたちに携わる保育者の在り方は、その環境として大変重要な役割を果たします。

現在、国は、公私・施設類型の垣根を越えて、保育者の専門性の向上等の取組を一体的に推進するため、地方公共団体における幼児教育の推進体制構築事業を進めており、その中において、幼児教育の教育的・社会経済的効果として、質の高い幼児教育を受けることにより、その後の学力の向上や、将来の所得向上、犯罪率の低下等につながるという調査結果も示しています。これらの動きを受けて、新潟県でも、幼児の指導を担う保育者の資質能力の向上を図るため、幼児教育センターの令和4年度設置に向けて調整を進める動きがあります。

糸魚川市には21の市営、民営の保育園、幼稚園、こども園があり、約1,000人の

## 質 問 事 項

子どもたちが通い、1日の大半を過ごしており、園において多くの保育士や先生方が、日々子どもたちのために懸命に向き合ってくださいています。しかし、頂いた資料によりますと、市営保育園の退職者数として、平成30年度から令和2年度の3年間で、正職員においては定年前の方々、会計年度任用職員においては毎年多くの方々退職しており、保育士や先生の確保、保育・教育現場における職場環境の改善が必要なのではないかと懸念しております。

幼児教育施設における保育実践上、運営上の最重要課題として、保育者の資質の維持、向上が図られている今日、まずは、最前線で働く保育者の所得や地位の向上、保育者自身の能力を子どもたちのために存分に発揮できる環境、それぞれのライフステージにおいて気兼ねなく働き続けることができる環境を整えることが大切だと考えます。

「ひとみかがやく日本一の子どもをはぐくむ」目標を掲げる糸魚川市において、質の高い幼児教育と子どもたちの健やかな成長の実現を願い、以下のことについてお伺いします。

- (1) 市営保育園、幼稚園における、正規職員と会計年度任用職員、パート職員の人数の割合と、それぞれの職務、勤務形態の差についてお聞かせください。
- (2) 保育現場では、子どもたちの朝の受入れから夕方の帰宅まで、子どもたちが目の前にいる限り職員には途切れのない勤務状態が続くと思われそうですが、働き方改革の視点において、どのような工夫をされていますか。
- (3) 慣れ親しんだ保育士も、初めて会う保育士も、子どもたちに与える影響は大きく、保護者にとっても同様と考えますが、保育園、幼稚園における人事異動は、どのような視点をもって行っていますか。

また、園長、職員の人事考課(評価)は、どのように行っていますか。

- (4) 経験の浅い保育士と経験豊かな保育士には、それぞれ長所も短所もあると考えますが、保育経験の差から生まれる課題をどのような形で解消されていますか。
- (5) 公開保育の目的と内容、実施方法をお聞かせください。また、公開保育の結果を保育士や子どもたちに、どのように活かしていますか。
- (6) こども課と保育現場との連携、コミュニケーションは、十分になされていますか。
- (7) 男性保育士や男性管理職を積極的に保育現場に登用することは、男女共同参画を進める上で、また、社会の多様化による家庭環境の変化の中で育つ子どもたちのために良い影響を与えると考えますが、いかがでしょうか。
- (8) 国や県の動きに合わせた幼児教育の質の向上を目指すには、現状の糸魚川市の保育園、幼稚園には、施設の統合や民営化による保育士の所得と地位の向上、働き方改革も含めた思い切った改革が必要だと考えますが、お考えはいかがでしょうか。

## 質 問 事 項

### ⑬ 阿 部 裕 和

#### 1 青海シーサイドパーク・須沢臨海公園の活用について

【答弁者：市長】

青海シーサイドパーク・須沢臨海公園はキャンプ場を始め、ヒスイが拾える海、子どもが伸び伸びと遊べる芝生の公園、パターゴルフ場など、多様な遊び場が集結するスポットとして、全国から足を運んでもらえる人気のエリアです。しかし、同エリア内にあるドームなぎさは倒壊のおそれがあることから、1年前から立入禁止措置が取られており、いつまでもこの状態が続くことは、当市の印象を落とし続けることとなります。今後このエリアをより一層活用し、交流人口の拡大、利用者の満足度向上を図るべきと考え、以下伺います。

- (1) 立入禁止措置が取られているドームなぎさですが、周辺地域全体としても一刻も早い修繕を望んでいます。ドームなぎさの現在の状態及び改修についての進捗状況を伺います。
- (2) ドームなぎさは大型休憩スペースとして位置づけられていますが、その他の利用方法、許可される用途について、具体的にお聞かせください。
- (3) パターゴルフ場の利用者数が少ない状況ですが、原因は何だと捉えていますか。
- (4) パターゴルフ場の利用者数増加を望みますが、市としてはどのようにお考えか、お聞かせください。

#### 2 市内小中学校の空調設備設置状況について

【答弁者：市長、教育長】

近年の猛暑を受け、各自治体でも学校の空調整備が大きく進んでおり、整備の対象は教室から体育館へと移っている状況です。当市において、普通教室は全国平均を上回る設置率ですが、特別教室、体育館等は全国平均を下回る設置率です。子ども一貫教育基本計画では「ひとみかがやく日本一の子どもを糸魚川市から」と目標を掲げています。空調設備の拡充を図り、快適な教育環境を整えることが肝要かと考えますが、市としてのお考えをお聞かせください。

## 質 問 事 項

### ⑭ 田 中 立 一

- 1 健康づくりセンター「はびねす」の屋内プール建築設計業務委託及び建築工事の入札について

【答弁者：市長】

- (1) 健康づくりセンター「はびねす」の屋内プール建築設計業務委託の入札について、市の担当者と落札業者双方が国の建築基準・用途と違う積算であることが判明した。

極めて特殊で高度な能力を要する屋内プールの設計業務について、専門性の高い資格を持った設計業務のエキスパートが、最も基本中の基本と思える箇所で、元市職員は積算ミスをし、落札業者はJVを組んでいるにもかかわらずミスをし、その結果契約をしたというのは不自然に思うが、市の見解を伺う。

- (2) ミスをした業者が、設計業務と同時に1,620万円の工事監理業務を受注し、ミスをした元市職員の担当者と約9億円という特殊で大規模な建築工事に係り監理業務をしたことについて、それぞれの入札等の検証も必要と考えるが、考えを伺う。

- 2 ヤングケアラーについて

【答弁者：市長、教育長】

大きな社会問題となっている「ヤングケアラー」について、12月定例会の一般質問に対し「県の実態調査なども踏まえ、引き続き対応する」という答弁であった。

新潟県では「県内でも家族の世話を担う子どもが一定数いることが明らかになった。今後、結果の分析や啓発、支援体制の強化に乗り出す」と報道されていたことから、糸魚川市が把握している県の実態調査の内容と市の対応について伺う。

- (1) 確かに厚生労働省のホームページでも法令上の定義はないとしているが「ヤングケアラーはこんな子どもたちです」を見ると、内容は多岐にわたっている。糸魚川市における、必要とされる支援の主な内容は何か伺う。
- (2) 相談窓口や福祉、教育の連携など体制についての整備状況と課題について伺う。

- 3 地域公共交通について

【答弁者：市長】

- (1) 大糸線について

JR西日本に関する報道により、大糸線の存続を心配する市民の声が多く聞か

## 質 問 事 項

れる。

コロナ禍により経営が厳しいことは理解できるが、大糸線は日本列島の南北、JRの東西を結び、沿線に白馬などの有名リゾート地もある。

沿線住民の足としてばかりでなく、観光用として、また大規模災害時の代替路線としての重要な役割を果たす路線として、7.11 水害など幾多の困難を乗り越えてきた歴史がある。

地方鉄道の在り方について、国も検討を始めているとの報道も聞かれるが、糸魚川市としては大糸線について今後、国や新潟県及び長野県とどのような姿勢で連携をしていくか、考えを伺う。

### (2) 再生可能エネルギーを利用した「グリーンスローモビリティ」(通称グリスロ)について

高齢化が進む中山間地域における公共交通へつなぐ手段として、あるいは各谷にある公民館や診療所・医院といった拠点施設への移動手段にグリスロ導入を提言した。

さらに、グリスロは、家庭用コンセントで充電可能であるが、小水力発電などの新エネルギーとセットによる導入ができれば、ゼロカーボンの乗り物となることにも触れた。

先日の小水力発電の講習会では、当市は水資源が豊かで小水力発電の適地も数か所あるようだが、売電までいかななくても、ごく小規模で負担も少ない発電設備なら各地にあるのではないか。

観光用としては、フォッサマグナミュージアムや谷村美術館と駅を結ぶ小回りの利いた乗り物として、できれば太陽光発電などで充電するなどということを検討できないか、考えを伺う。

## 4 糸魚川市の農業の取組について

【答弁者：市長】

新年度の米の作付を迎える時期に当たり、昨年度の米価の下落、コロナ禍での在庫量増加といった諸課題に対し、需給の見通しや販売数量、所得の確保などの状況と対応について伺う。

- (1) 令和4年産米の生産目標配分と対応について伺う。
- (2) インターネット販売など販売策の強化に対する考えを伺う。
- (3) 高収益作物による所得確保の取組について伺う。
- (4) 第5期の中間点を迎える、中山間地域等直接支払制度の取組状況について、特に「集落戦略の作成」や「棚田地域振興活動」について状況を伺う。
- (5) 原油高がこの先も見通せない状況だが、このまま続いた場合の一次産業へ与える影響をどのように考えているか。

## 質 問 事 項

### 5 動物愛護の取組について

【答弁者：市長】

- (1) 市内における多頭飼育と野良猫の現状と対応について伺う。
- (2) 高齢者等が飼育するペットについて、以前把握していただいたが、その後の状況と課題について伺う。
- (3) 災害時の同行避難について、市の考えを伺う。
- (4) 6月から施行される犬・猫のマイクロチップ装着義務化について、既に飼われているペットに対する情報提供と努力義務への対応についての考えを伺う。

### ⑮ 宮 島 宏

#### 1 美しい糸魚川への思いを深めるために

【答弁者：市長、教育長】

先に放送されたブラタモリにより、糸魚川の魅力を新たに認識したり、その価値を再認識されたりした方が多いと聞いています。生まれたまちを愛し、暮らしているまちに誇りを持つこと、すなわち郷土愛を更に高めるための施策について、以下伺います。

- (1) 旧青海町では青海八景として町内の優れた景観の場所を選定しています。これに倣って市内にある優れた風景を「糸魚川三十六景」と選定し、それらを教育や地域振興に活用することはできませんか。
- (2) 石のまちプロジェクトでは、おもしろ石や石のかおのコンテスト、石のガイド講座などを行ってきています。これを更に発展させるために以下の選定をしませんか。「糸魚川貴石七選」・「糸魚川名石七選」・「糸魚川珍石七選」・「糸魚川奇石七選」
- (3) 石のまちプロジェクトで、石を使った料理を導入する考えはありますか。例えば、わっぱ煮、石焼き芋、石の焼き肉などを糸魚川の食材に応用すれば、石のまちならではのものとなるのではないのでしょうか。
- (4) 昨年、海洋研究開発機構が行ったすべらない砂甲子園においてヒスイ輝石岩が3位に選ばれました。滑りにくさは科学的に意味を持つものですので、まなそば一よなどでやってみてはいかがでしょうか。また、逆に滑る砂の実験はいかがでしょうか。

## 質 問 事 項

### 2 美しい糸魚川を目指して

【答弁者：市長】

環境の美化に関して、以下伺います。

- (1) 国連海洋科学の10年におけるJGN取組推進宣言を受けて、当市ではどのような取組を行いますか。
- (2) 2021年12月23日にフォッサマグナミュージアムの駐車場でごみ収集車の火災事故がありました。この事故はどのような経緯で起きたのでしょうか。今後どのような対策を取られますか。
- (3) 昨年6月定例会で市内に繁茂する特定外来生物オオキンケイギクの問題について提起しました。オオキンケイギクについて、来年度はどのような対策を取られますか。

### ⑩ 東野 恭 行

#### 1 姫川港西ふ頭2号岸壁（水深11メートル）の整備について

【答弁者：市長】

近年、セメント国内需要が伸び悩む中、糸魚川市内のセメント製造企業は、インフラ整備の拡大により、セメントの需要が増加すると見込まれる東南アジアへのセメント輸出を拡大することを計画しています。

日本から遠く離れた東南アジアへの輸出は、一たび円高に見舞われた場合、たちまち競争力が低下してしまうマイナス要因があることから、セメント製造企業は、その解決策として3万トンクラスの船舶（現行1万～1.9万トンクラス）を新規に造船する計画を立てているところであり、姫川港の入港には水深11メートルの岸壁が必要になります。

水深11メートルの岸壁が整備されることにより、大型船舶の入港が可能になり、輸送コストの削減や輸出競争力の強化につながります。姫川港からの輸出貨物の取扱量が増えることにより、荷役や運送を担う企業にも利益が上がると想定されます。

糸魚川市にとって、今後の展開に期待のかかる事業であると考えます。

- (1) 姫川港西ふ頭2号岸壁（水深11メートル）の改修事業期間が、平成10年度の開始から令和8年度までとされており、現在までの進捗状況を伺います。
- (2) 姫川港西ふ頭2号岸壁の整備により期待される効果、経済波及効果について伺います。
- (3) 松本糸魚川連絡道路の整備に伴い、長野県中信地域の海の玄関口としての役割も期待されますが、どのような効果が期待されるか伺います。

## 質 問 事 項

- (4) 姫川港西ふ頭水深 11 メートルの岸壁を整備する際に排出される土砂の容量と活用について、糸魚川市の考えを伺います。
- (5) 令和 8 年度の完成に向け、姫川港の東側（寺島地区周辺）の周辺整備・開発について、お考えがあるか伺います。

### 2 糸魚川版 C C R C 構想の可能性と移住定住の促進について

【答弁者：市長】

第 3 次糸魚川市総合計画の中の第 4 章、地域が輝き、誰もが共に活躍できるまちづくり「移住定住の促進」の基本方針では、「本市への円滑な移住に向け、魅力ある糸魚川暮らしを効果的に情報発信するとともに『暮らす・働く』際の受入態勢の充実及び支援制度の確立から、地元出身者も含め地域に根付く多様な人材の確保に努めます。」とあります。糸魚川市の移住定住促進にかける思いと、今後の展望について伺います。

- (1) 都市近郊で暮らす方々に、二地域居住の地として糸魚川市を選んでいただくために、どのようなアプローチを行うか伺います。
- (2) 内閣府の「新型コロナウイルス感染症の影響かにおける生活意識・行動の変化に関する調査」の中で、20 代の地方移住への関心が高まっている理由を、糸魚川市はどう分析されているか伺います。
- (3) 移住定住に関する支援制度を利用した移住者が、糸魚川市に定住していただくために、どのような努力が必要であるか伺います。
- (4) 国土交通省のサービス付き高齢者向け住宅整備事業の概要の要件の中に「市町村のまちづくり方針と整合していること」とあるが、地方の独自性あるサービスや環境の提供により、高齢者の移住を促せるものとお考えか伺います。

### ⑰ 古 畑 浩 一

#### 1 混迷する糸魚川市。諸課題への対応と行政責任について

【答弁者：市長、教育長】

官製談合、副市長選挙違反、違算による入札失格業者受注など度重なる不祥事は、長期間何一つ解決されておらず今日に至っており、市民は元より、市内外に対して信頼を大きく損なうと共に行政業務を停滞させる緊急事態と受け止めます。このような事態は、議会議員の責任において到底看過できるものではなく、また混迷を深める新型コロナウイルス感染症対策や対応を迫られる行政改革など諸課題について、以下により質問を行うものです。

## 質 問 事 項

- (1) 官製談合防止違反等事件の発生から裁判・判決までの経過と、再発防止策と入札に対する対応。第三者委員から報告提言等について
- (2) 健康づくりセンターはびねすプール・ダンピング問題等について
- (3) 藤田前副市長の公職選挙法違反による告発・辞職についての経過と責任等について
- (4) 市職員の50km以上の速度超過による交通違反などを始めとした、コンプライアンスの徹底等について
- (5) 株式会社能生町観光物産センター・権現荘を始めとした第三セクター並びに指定管理者の在り方と経営状態と補助協力金等について
- (6) 新型コロナウイルス感染症への対応とまん延防止等重点措置期間延長の意味、解除後の対応などについて
- (7) 部長制の廃止など行財政改革等について
- (8) 大糸線の廃線問題、糸魚川市及びJR西日本の考え方並びに公共交通について
- (9) 行政トップの市長の責任について